

田舎暮らしのみちしるべ

E-mail chiiki@city.iwakuni.lg.jp

第 10 回 IJU（移住）応援団交流会 in 川越

【第 10 回 IJU 応援団を開催いたしました】

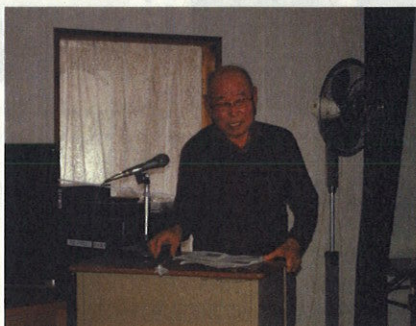
平成 25 年 1 月 22 日（火）周東町三瀬川集会所で三瀬川むらおこし協議会会長國永修 IJU（移住）応援団と農家民宿『かじ屋』店主豊島勝彦 IJU（移住）応援団の共催にて開催されました。このたびは初めて 1 月下旬の冬真っ盛りの時期に開催いたしましたが、移住体験者、行政関係者さらに今回は開催地の川越地区自治会長さんにも案内を出し、総勢 30 名のご参集をいただきました。当日はこれまで同様に活発な意見交換会になりました。開催地の IJU（移住）応援団さんにはいつもながらの入念な準備と温かい受入れをいただき、朝 10 時から午後 2 時半まで、昼食をはさみながらのあつという間の一日でした。日頃、地域の活性化に努力されている皆様の貴重な情報交換の場となりました。また、当日、事例発表 3 件もありました。國永修氏『三瀬川地区での移住者を受け入れてみて』、豊島勝彦氏『農家民宿での田舎暮らしの紹介活動』、坂本辰夫氏『空き家購入・登録・売却でかんじたこと』。また、今回開催地の川越地区では昨年↓



参加者集合写真

発表者（上より國永氏、
豊島氏、坂本氏）。

地元の新鮮な材料がて
んこ盛りのお弁当。



新しいIJU（移住）応援団紹介

今回は新しく IJU（移住）応援団に登録していただきました美和町『北中山ふるさとづくり委員会』をご紹介します。同委員会は永井健利会長の下に6自治会があり、現在2自治会、牛ヶ多和自治会永井武文氏、程野自治会藤中規幸氏、山本朝夫氏の登録をいただきました。昨年な が い た け と しの空き家調査の際、牛ヶ多和自治会より空き家を活用して地域活性をしたい要望があり、現在準備中。今後その他の自治会でも進めていく予定です。この地区は、総合支所、美和西小学校、美和中学校、いきみ ikiiki いきセンターに近く、県道2号線沿いで、中世城郭跡『高森城跡』のある地域です。



永井健利さん



永井 武文さん

↑7月に実施しました、地域の活性化に活用できる空き家の調査の結果、IJU（移住）応援団と地域の自治会長と関係者との協働で2組の若手移住者の迎え入れが出来ました。

今回、岩国市の UJI ターン促進のため IJU（移住）応援団と自治会長の協働活動でパワーアップされた川越地域の16自治会長さんにも交流会への参加案内を出し、当日3自治会長の参加を得て、より広範な交流ができました。今後、IJU（移住）応援団のいない地域にも本事業を通じて地域の活性化の参考になればと思います。

岩国市に UJI ターンされ活躍されている多彩な地域活性化の後継担い手を紹介いたします

移住体験者紹介1

美和町小瀬川ダムのほとりに20年以上も前にIターンしてきたたのなただし田中正さんをご紹介します。現在、レストラン・喫茶や陶芸教室の活動をされています。自然を満喫しながらの食事などが楽しめます。お店の名前はポットブーリー。食事には電話予約必要。

☎0827-56-0750



移住体験者紹介2

周東町上久原で陶芸活動を行っている若手陶芸家の三浦圭司さんは岩国出身で、東京の大学卒業後、京都、沖縄での焼物修行後、一昨年、地元に戻り、通化寺釜元田村悟朗氏のもとで活動をしています。昨年秋には県内外での個展を開催。同釜元には常設の展示場もあります。



移住体験者紹介3

由宇町由宇でトマト、各種葉物野菜の栽培やトウモロコシへの挑戦などしている若手就農家うめおかいおり梅岡伊織さんです。梅岡さんは5年前結婚を機にUターンされ、その後急に亡くなったお父さんの後を継いで農業、地域の活動などをしていきます。



移住体験者紹介4

由宇町にあるユニークな『ミクロ生物館』若き館長のすえともやすたか末友靖隆さんは神戸の大学院在学中に本生物館の創立に関与し、その後、幅広い活動をされています。研究の対象は『微小生物』という我々の周囲に沢山生活しているが、なかなか気づかれない世界の主役です。



事務局から 空き家調査協力でのお礼

昨年7月自治会長さんにご協力いただき、地域活性化に

空き家を活用するための調査をしていただきました。関係者の皆様ありがとうございました。今後、登録の可否を調査し、地域活性化に活用していきたいと思ひます。関係者のより一層のご支援をお願いいたします。